

関税局長からのメッセージ



関税局長
阪田 渉

税関は本年(令和4年)11月28日に150周年を迎えます。明治開国以来長きにわたり、税関は貿易秩序の維持及び日本の経済の発展に大きな役割を果たしてきました。この150周年という節目は単なる通過点ではなく、税関が新たな時代を切り拓くための契機でもあります。

税関は様々な新しい課題に直面しています。税関で押収される不正薬物は6年連続で1トンを超みました。深刻な状況が続く中、不正薬物などの社会悪物品の流入を防ぐ税関の責務は重みを増しています。また今後、2023年のG7サミット、2025年の大阪・関西万博などの国際的な大イベントが控えており、テロ対策などの厳格な取締りと円滑な通関の両立に万全を期すことが期待されています。

直近の状況を見ると、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための外出自粛に伴ってネットショッピングの利用が拡大したことにより、航空貨物の輸入許可件数が激増しています。関税局・税関は我々の生活に直結する物流に精通する機関として大きく関与しています。

国際的な動きとしては、本年1月1日に日本の主要貿易国である中国などとの初めての経済連携協定であるRCEP協定が発効しました。現在、経済連携協定発効済・署名済の相手国と

の貿易額は、日本の貿易総額の約8割となっています。経済連携協定の利用機会のさらなる拡大が見込まれているなか、通関業務を行う税関に求められる役割はますます重要となっています。

税関では、サプライチェーンの変化やデジタル化の加速など、新たな環境変化を見据え、ドローンやAI(人工知能)といった先端技術の活用も開始しており、今後も一層の業務の高度化、効率化や利用者の利便性向上などを図っていかなくてはなりません。

税関には、こうした様々な課題に的確に対応しながら、「安全・安心な社会の実現」「適正かつ公平な税関等の徴収」「貿易の円滑化」という3つの使命を着実に遂行することが求められています。

税関が次世代へと大きく飛躍し、「世界最先端の税関」となるためには、若い皆さんの前例に囚われない柔軟な発想が不可欠です。様々なバックグラウンドを持つ皆さんとともに、税関職員の幅広い活躍の場を通じて新たな時代を切り拓き、将来の税関の礎を築いていく日が来る 것을楽しみにしております。

JAPAN CUSTOMS



Contents

局長からのメッセージ	1
税関の使命	3
業務紹介	
財務省税關局	6
税關	13
税關総合職のキャリアパス	17
税關総合職の活躍するフィールド	25
税關150周年に向けて	29
ワークライフバランス・福利厚生	31
1年目職員からのメッセージ	33
人事採用関連情報	34